

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



ホームページ ブログ
最新記事をそれぞれに掲載しています



インターン生と研修中

国が配布のマスクは回収検品

鳴り物入りで開始された、1世帯2枚配布のいわゆるアベマスクですが、欠陥品、不良品が少なからず発生したという知らせが各地で起き、いまだ配布が進んでいません。

元来、マスクが不足しているということで、国内で大幅に増産されるという政府発表の後のことで、このマスクは当然に国産品だろう（国産が絶対に優秀というわけではないが）と誰もが推測していました。理由は、安倍総理は、「美しい国、日本」とスローガンを掲げた総理でした。ところが妊婦さんらに先行配布した製品に、多数の欠陥品、不良品が発生していたという報告が相次ぎ、その品が実は外国産であったことを改めて知らされました。その後、全国を対象にした1世帯2枚の配布品にも少なからぬ欠陥品、不良品が見つかり、それらは全量回収とされています。

今回、その輸入には大手商社もかわり、日本の基幹的な企業の信頼失墜、さらに政府が調達した品物に対する信頼性を欠いた事態を生じさせました。大きな禍根を残す例となり、信頼回復の在り方には、特に注目したいと思います。（写真は私の自宅用マスク）



1人10万円特定給付金の支給

特定給付金は1人10万円支給と国会で最終決定しましたが、その配布の実際の配布は各地方自治体が実施します。オンライン、あるいは郵送配布書類を記入して返送するという手続きとなっています。そのために、自治体によって手続きの早い・遅いという差が生じています。TV報道では、5月始めに書類が家庭に届いた小規模自治体もありますが、しかし、大規模の都市では書類のチェックに時間を要し、この市議会報告の配布時期より早めに受給できる人は少ないでしょう。また、オンライン申し込みはマイナンバーカードの所持が前提ですが、そのマイナンバーカードを持たない人が新規にそれを申し込みとカード発行までの期間が1ヶ月以上を要し、国の案内でもカードを持たない人は、郵送申し込みでお願いしますと進めています。町田市議会は支給事務の早期化を求めています。



なお、申込手続きが世帯単位となっているため、所帯主の意向が強く反映されます。会派では、議会の質問で、「世帯主が家族の分を給付金の受給を希望しない」としていても、家族が必要とした場合はどのようになるかと尋ねても、回答が得られないものでした。個人単位としながら、世帯となったことで起きた問題です。

- ★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です
- ★ 大学生の目標・希望にそって、議員と一緒に研修・調査するプログラムで社会勉強。インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」会派室

自宅 042-795-7361



FAX: 042-795-2726

市民病院の予算で簡易陰圧設備装置購入

保守の会は保健所・市民病院の支援を表明！

コロナウイルス感染症防止対策では、PCR検査を拡充することが一番だということがよく定着してきました。

前号で、町田市医師会によって、サン町田旭町体育館にPCR検査施設が新たに設置されたことを広報しましたが、それに続いて町田市内での検査の体制強化が図られます。5月7日の臨時市議会に提案された市民病院の予算案に入れられたものですが、今回、1人10万円の特定給付金と共に、その早期実施を求める全会一致の賛成でした。

その新型コロナウイルス感染症対策予算には、医療機器購入費として、現行の8台に加えて、コロナ専用の人工呼吸器2台と、検査用の簡易陰圧室設備の設置があり、無菌の新鮮な空気を取り入れる一方で、ウイルスを含む室内の空気が専用のダクト部分以外から出ないように換気が行える装置がついています。また、外部に専用の仮設トイレも設置されます。全会一致で可決しました。



市民病院前で4月下旬に私が撮影した写真

保守の会で相模原市にマスク寄付支援

10,000枚のマスクを障害者施設用に贈る

「なぜ、保守の会（5名）は、10,000枚もの大量のマスクを相模原市に贈ったのか」、「それほどの量をどのように確保したのか」ということにも疑問があると思います。



この写真のように、本村賢太郎市長に白川哲也幹事長が目録と見本を手渡し、歓迎されました。現品はダンボール箱のまま、到着早々に健康福祉局福祉基盤課によって、健康障害者の作業所に区分け作業のために移送され、全部で170か所の施設に配布する手当がされました。このレポートを配布する時点では全ての施設に配り終えているでしょう。

所属の深沢ひろふみ議員が購入担当し、4月上旬に早期発注したのですが、この間のマスク不足、航空便の大幅減で到着が連休時期になりました。公職選挙法上、町田市民には寄付ができないため、保守の会一同は、都県境を超えた、相模原市民の方を対象に配布したものです。当日、懇談した石川将誠議長もその友好交流の姿勢を歓迎されました。なお、吉田つとむは相模原市との交渉を担当。

★ 政党無所属で市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.com

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

連絡先 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）